



**学校とともにある地域づくり
～地域学校協働活動推進員の役割～**

岡山県教育庁生涯学習課

地域学校協働活動アドバイザー 安田 隆人

Profile



<勤務歴>

- 大学卒業後、民間企業に勤務
- 岡山県内小学校（教諭 H1~H12）
- マレーシア国クアラルンプール日本人学校（教諭 H7~H9）
- 旧浅口郡船穂町教育委員会（派遣社会教育主事 H13~H15）
- 岡山県教育委員会倉敷教育事務所生涯学習課（社会教育主事 H16~H20）
- 岡山県教育委員会岡山教育事務所生涯学習課（社会教育主事～総括主幹 H21~H23）
- 岡山県教育庁生涯学習課（総括副参事～副課長 H24~H26）
- 浅口市立鴨方東小学校（校長 H27~H30）
 - ・岡山県働き方改革モデル校指定
 - ・平成29年度文部科学大臣優秀教職員（組織の部）表彰
 - ・平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰
- 浅口市立寄島小学校（校長 R1~R3）
 - ・令和2年度岡山県優良実践校
- ※令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰：寄島学園CS（よりしま魅力化推進協議会、よりしま地域学校協働本部）
- 高梁市教育委員会社会教育課（参事 R4~R5）
- 岡山県教育庁生涯学習課（地域学校協働活動アドバイザー R6~）

<役職等>

- 文部科学省CSマイスター（コミュニティ・スクール推進員 R3~）
- 文部科学省「地域と学校の新たな協働体制の構築のための実証研究」（有識者委員 R1~2,4）
- 兵庫県地域連携アドバイザー（R4~）
- 岡山県CSアドバイザー（R5~）
- 岡山県生涯学習審議会委員及び岡山県社会教育委員（R5）



浅口市



浅口市の概要

- ・ 岡山県南西部に位置
- ・ 平成18年3月に金光町、鴨方町、寄島町の3町が合併して誕生
- ・ 人口 約3万3千人
- ・ 世帯数 約1万4千世帯
- ・ 面積 66.46 km²
- ・ 公立幼稚園 3園 保育園 1園
こども園 2園
- ・ 小学校 7校 中学校 3校



鴨方東小学校区について

- ・学区は浅口市の中央部に位置
- ・山陽自動車道の鴨方IC近くで、主要道沿いには店舗の進出が相次いでおり、交通安全や防犯対策に対しては、地域をあげて取り組んでいる。
- ・学区には、県立鴨方高校、鴨方中学校、幼稚園、保育園、こども園がある。
- ・全校児童 363名 通常学級 12学級 特別支援学級 3学級(H30.3)



寄島小学校区について

- ・学区は浅口市の沿岸部に位置し、瀬戸内海を臨む自然豊かな町で、古くから漁業の町として栄え、新鮮な魚介類に恵まれた地域として有名である。
- ・人口減少、少子高齢化が進み、人間関係の希薄化や地域の活性化が課題である。
- ・児童は明るく素直で、目標に向かって頑張ろうとする。しかし、家庭の教育力低下から、基本的生活習慣等に課題のある児童が増加傾向にある。
- ・学区には、寄島中学校、寄島こども園、竜南保育園がある。
- ・全校児童 161名 通常学級 6学級 特別支援学級 2学級(R3.5.1)



本日 お伝えしたいこと

- 1 地域学校協働活動推進員の役割**
- 2 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との関係**
- 3 支援から協働の実践事例**

学校と地域の連携・協働は なぜ必要か！

広辞苑

【連携】

同じ目的を持つ者が互いに連絡をとり、協力し合って物事を行うこと

【協働】

同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと

★子どもを取り巻く
社会環境の変化！

★ゲームやインターネット、スマホなど
ハイテクメディアの急速な普及！



＜子どもの現状＞

異年齢交流機会の減少、遊びの変容、直接体験の減少、社会参加体験の減少 等

＜地域社会の現状＞

人口減少、地域の連帯感の希薄化、地域活動の衰退 等

＜家庭の現状＞

核家族化、子育ての悩みによる精神的な負担、子どもへの過干渉・過保護 等



子どもの規範意識や自己肯定感の低下等、様々な課題

**子どもの未来を創るためには
地域と学校の連携・協働は、MUST！**

子どもを核に
人がつながり



ひとづくり・まちづくり

地域の力の可能性は無限大！

人と人とのつながりづくりのための 仕掛け！

様々な立場の方が、子どもに関わり
人と人がつながる



地域学校協働活動



ビジョン
の共有

【地域学校協働活動】

地域と学校が、同じ目的・目標に向け、パートナー（対等の立場）として、分担したり、協力したりして行う様々な活動。

拡大熟議（ワークショップ）を実施し、「育てたい子どもの姿」のキーワードをもとに
学校運営協議会の中で、CS共育目標を決定



共育目標



【地域学校協働活動】

学校が行う
活動

地域と学校で
行う活動

地域が行う
活動



「地域学校協働活動」「地域学校協働本部」とは

【地域学校協働活動】

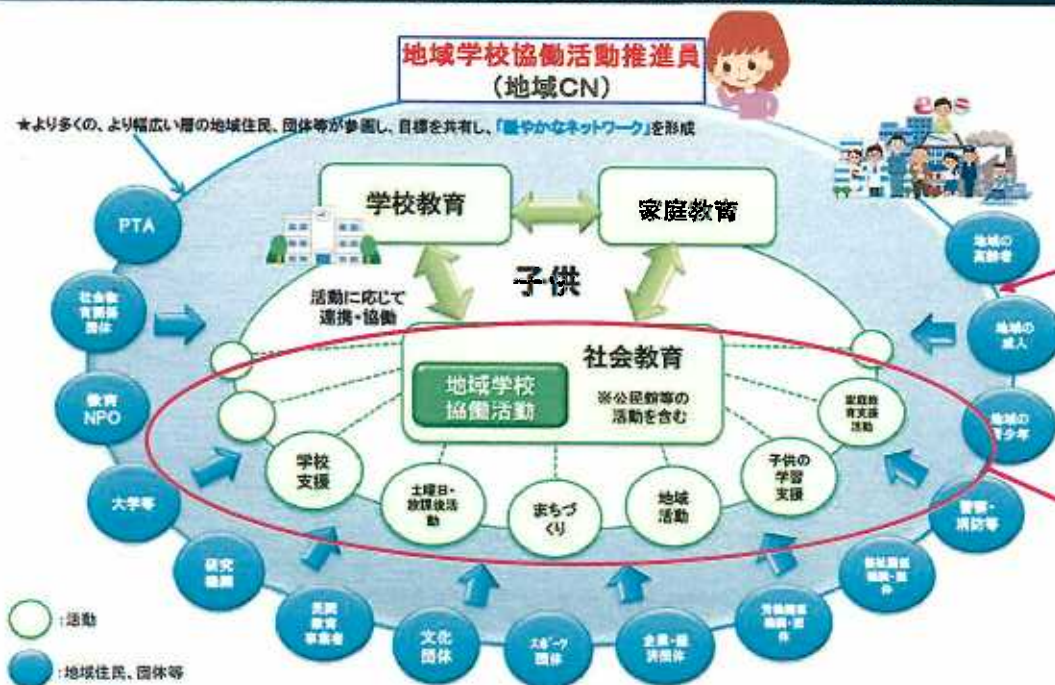
教職員と地域住民(含む保護者)とが、子どもや学校が抱える課題や達成したい教育目標(ビジョン)について共有しながら、各々の教育的な役割を自覚し、分担しあったり、時に協力しあいながら、子育てを進めようとする地域づくりの取組。(学校を核とした地域づくり)

※国立教育政策研究所 志々田まなみ先生の資料から

【地域学校協働本部】

多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み(活動概念図)



緩やかなネットワーク

<本部の条件>

- ① コーディネート機能
- ② 多様な活動
- ③ 継続的な活動

★子どもを取り巻く学校や地域の課題解決のための活動

★さらに充実したいことへの活動

地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)

地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)は、
地域と学校をつなぐ**キーパーソン**！



**つなぎ役
潤滑油**



【法律に位置づけられた存在】



地域の教育力向上の重要性

「人づくり つながりづくり 地域づくり」を推進する重要ポスト

〈社会教育法 第9条の7〉

教育委員会は、地域学校協働活動の円滑かつ効果的な実施を図るため、社会的信望があり、かつ、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者のうちから、**地域学校協働活動推進員**を委嘱することができる。

2 **地域学校協働活動推進員**は、地域学校協働活動に関する事項につき、**教育委員会**の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行う。

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5 2項3号〉

地域学校協働活動推進員を**学校運営協議会**の委員として**任命**することが、法律で定められている。

地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)

地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)は、
地域と学校をつなぐ**キーパーソン**！

地域の一員！

多くの地域の方との
つながりを！

【大切にしたいことチェックリスト】

- ☐ 気軽に相談できる存在でいましょう
- ☐ 学校や教職員を理解して、地域と学校が円滑に結びつくように、**中立的な立場**で支援をしましょう
- ☐ 教職員とは違った**地域住民としての視点**を大切にしましょう
- ☐ 子どもや先生、保護者、ボランティアの方等それぞれの立場の方と、**同じ目線**で接しましょう
- ☐ 学校運営協議会で熟議した**課題解決のアイデア**を形にするように動きましょう
- ☐ 先生方、子ども、地域住民、保護者等様々な立場の方々とコミュニケーションをとり、**情報収集・共有・発信**をしましょう
→ **学校や地域の変化**をとらえ発信しましょう
- ☐ 協働活動の中で気づいたことを、みんなで共有しましょう
- ☐ 活動でのトラブルには迅速に対応しましょう → ときには、学校と地域のクッション材としての役割も！
- ☐ 会の進行や資料印刷、連絡方法の工夫など**学校と役割分担**をし、互いに**負担軽減**しましょう
- ☐ 積極的に学校外の研修に参加しましょう → **ネットワークづくり**に役立ち、新たな情報が得られます（**名刺**は便利）
- ☐ コーディネーターとしての動きや、**学校への押しつけ（負担）**になっていないか等振り返りをしましょう
- ☐ 人（ボランティア）を動かし、子どもには「上から目線」ではなく、**一緒に学ぶ姿勢（共育）**であることを伝えましょう
- ☐ **コミュニティルーム**があれば、学校がボランティアや保護者の方々の**居場所**になります（つながりづくり）

守秘義務

【ボランティアの心得】

- ①挨拶を大切にしよう
- ②**学校で得た情報を口外しない**
- ③良いところを見つけて**褒めよう**
- ④授業は先生が主体である
- ⑤割り当てられた時間を守ろう
- ⑥**子どもと一緒に学ぶ姿勢**でいよう



コミュニティルームなどに
掲示しておく、いつ
も確認できますね！

これからの
学校と地域

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動



地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5

コミュニティ・スクールとは

「**学校運営協議会**」を設置している学校

- ・校長は、**リーダーシップ**と**マネジメント能力**を発揮して学校経営
- ・保護者や地域の方が**一定の権限と責任**を持って学校運営に参画
- ・学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育の実現

合議体：納得解を得る

学校運営協議会の3つの権限

- ① 校長が作成する**学校運営の基本的な方針を承認**する【必須】

承認



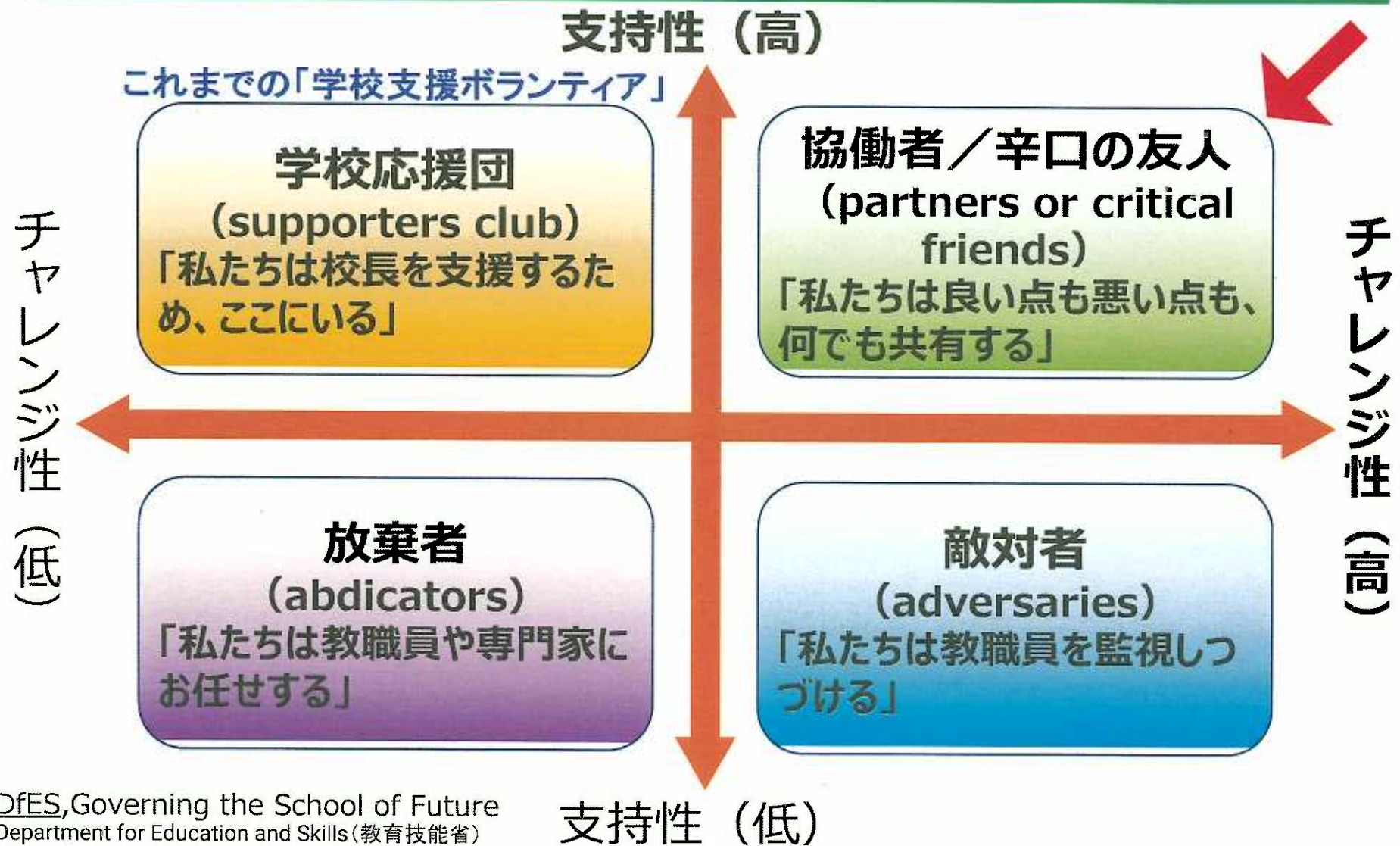
「OK」ではなく、「Let's」

当事者として一緒にやろうという意思表示的な承認です。

- ② 教育委員会又は校長に対して**学校の運営に関する事項について意見を述べる**ことができる【任意】
- ③ **教職員の任用に関して**教育委員会規則に定める事項について、**任命権者に意見を述べる**ことができる【任意】

望ましいのは'critical friend'?

校長らを信頼しつつ、教職員とは別の視点で学校を見つめ、建設的な批判も行う。適度な緊張感＝「辛口」。



コミュニティ・スクールとは

「**学校運営協議会**」を設置している学校

学校と地域をとりまく**課題解決、魅力向上**のための仕組み

学 校

学校運営協議会

学校運営や運営に必要な
支援に関する協議

育てたい資質能力
社会に開かれた教育課程
教員の働き方改革
生徒指導上の課題
学校施設、地域の課題
地域学校協働活動 等

学校経営方針
の実現へ



(合議体)

学校と地域で
目標やビジョン
を共有

委員として参画



地域連携担当
教職員

地域学校協働活動推進員
(地域CN)

人材・活動などの
コーディネート

地 域

地域学校協働活動

教育課程内

生徒指導上の問題、社会に開かれた教育課程、教員の働き方改革等**学校の課題解決**、学校支援ボランティア活動 等

教育課程外

学校・家庭・地域による各種連携活動
体験活動、地域貢献活動、放課後
子供教室、学習支援、地域行事への
参画 等



<本部の条件>

- ①コーディネート機能
- ②多様な活動
- ③継続的な活動

住民・企業・団体等

地域学校協働本部

(ネットワーク)

地域防災への対応

<地域学校協働活動推進員（地域CN）>

- A：地域住民の立場として、また防災士の立場として計画の段階から関わっていただき、訓練のながれや避難場所、経路等について協議・活動
- B：子どもが安全に避難するために、そして防災学習を深めるために、学校支援ボランティアを確保する「地域と学校のつなぎ役」

南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）

寄島地域では、震度 6 弱。約3mの津波が、約 4 時間で到達すると予想されている。



平成16年(2004年)台風16号は、高潮による水害が加わり、多大な床下・床上浸水被害をもたらした。

しかし、月日の経過とともに少しずつ災害の記憶が薄れている。

R3.1.15 避難訓練(水平避難)

震度 6 弱の地震が発生し、地震や津波の特別警報が発令されたという設定

第 1 次避難場所 → 運動場

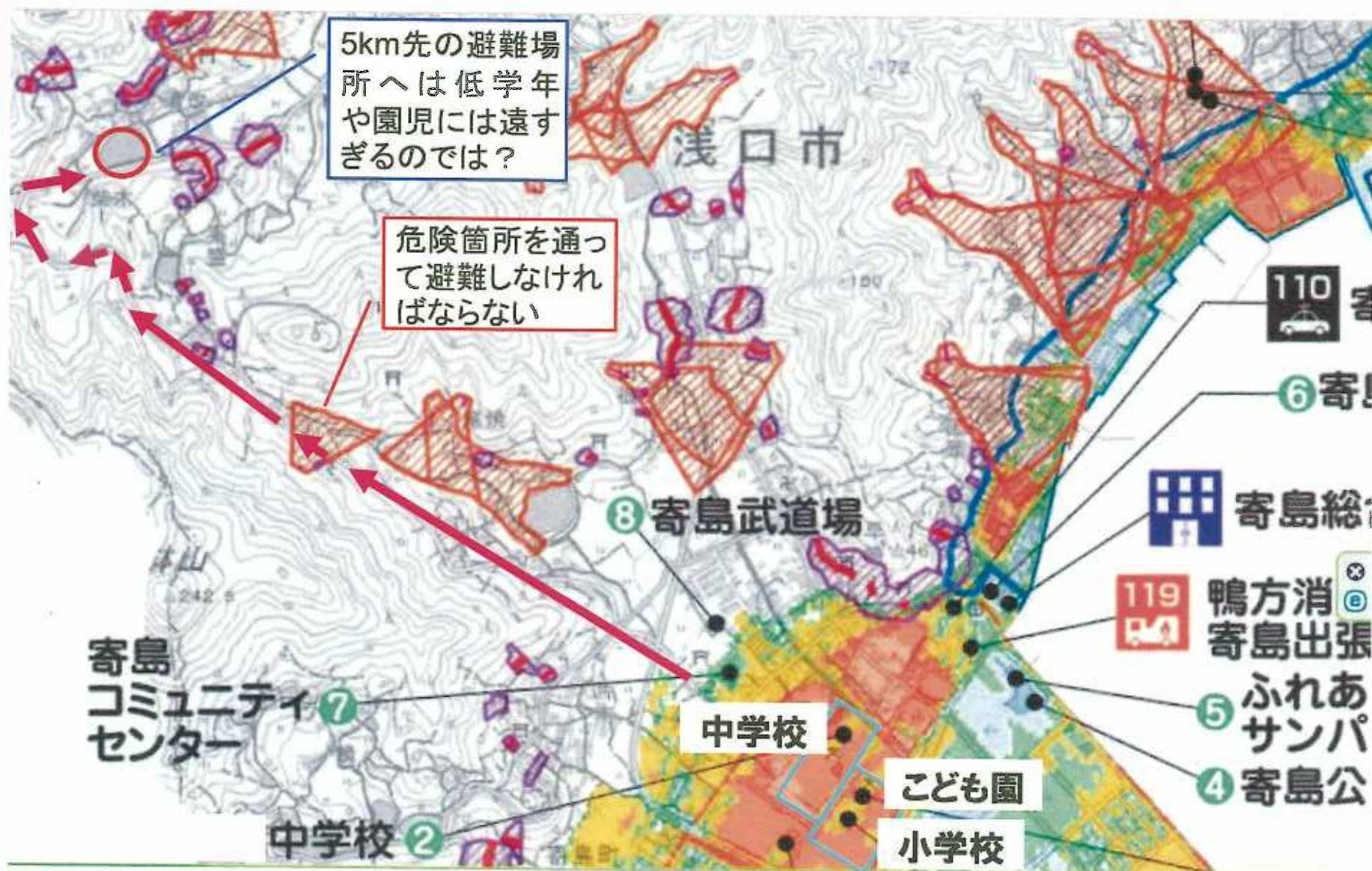
第 2 次避難場所 → 垂直避難 (校舎 3 階)

水平避難 (5 km 先の高台)

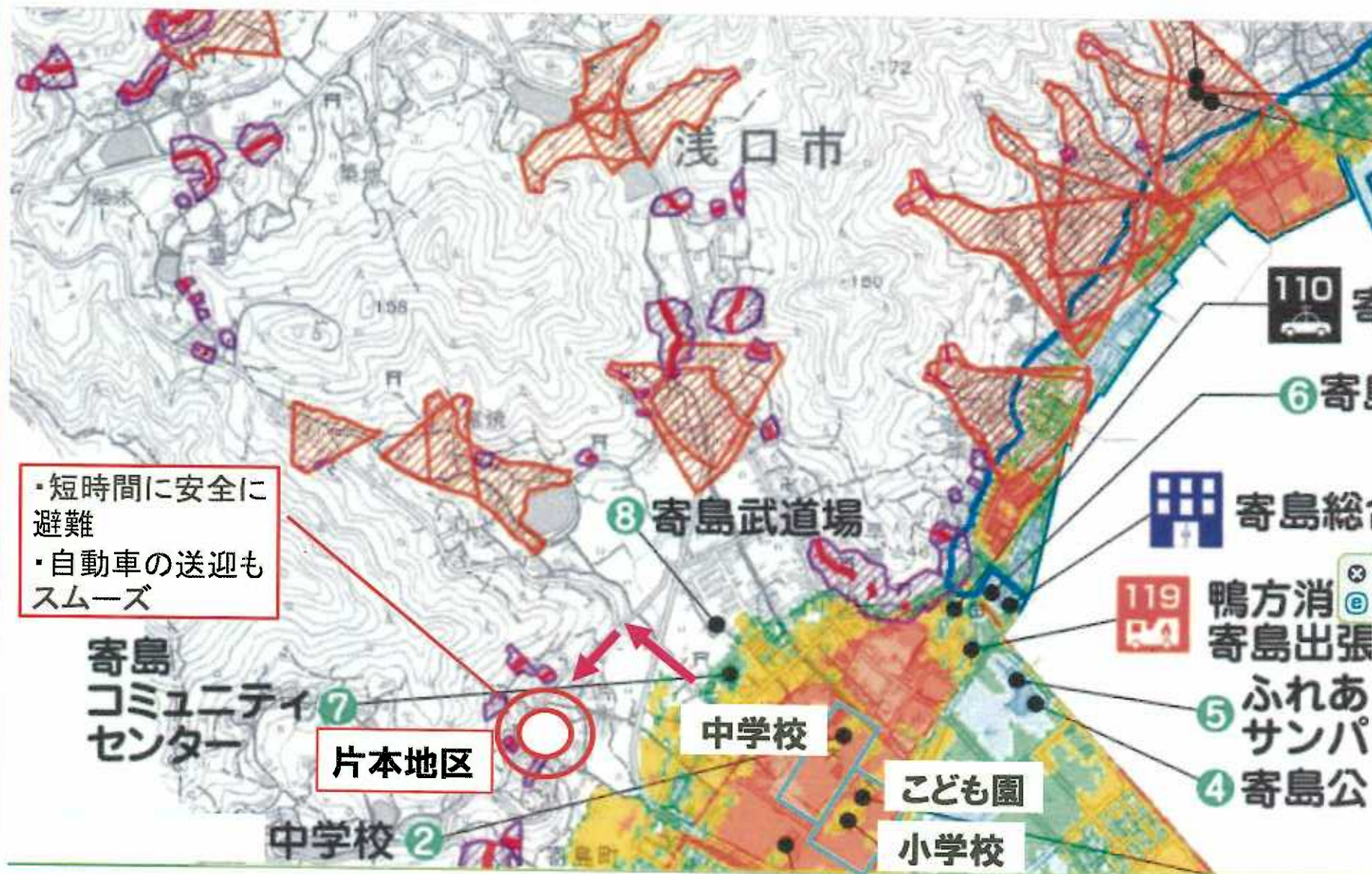
計画を協議する中で、教
職員から疑問の声が...



これまでの避難経路



検討後の避難経路(小学校と、浅口市防災担当、県学校安全関係者で)



R3.1.15避難訓練



訓練では、②の高台に避難したが、①の避難場所も考えられるため、**学校運営協議会**で、**右の資料**等提示して、避難場所として片本地区が適切か協議することとした。

まず、小学校のみで避難訓練を実施し、消防署と連携して避難経路等確認し、学校と消防署で振り返りを実施。

消防署からは、**より安全に確実に避難するためには、地域の方々を巻き込んで考えていくことが必要**と指導をいただいた。



R3.2.3 第4回学校運営協議会



<避難場所ルートの確認を協議>

- ・道幅等のことを考えての避難経路になっているのか。
→安全面を考慮し設定しているが、実際は経路を再確認しながら決定することになる。
- ・警察や消防団との連携も必要ではないか。
- ・**学校園や地域と合同の防災訓練をしていく必要があるのではないか。**
→今後、実際に訓練をしてみて、見えてくる課題について対応を考えていきたい。

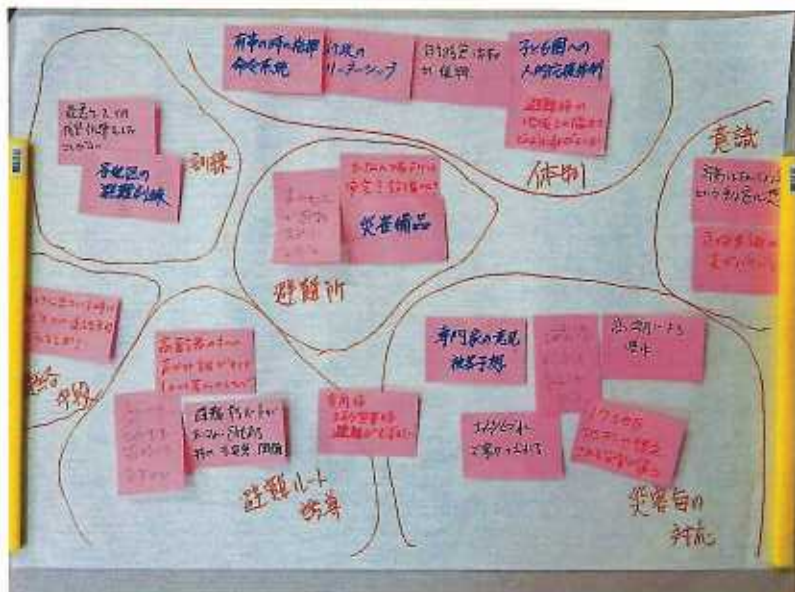
地域の方々との合同避難訓練の必要性を感じた。



今後、「地域防災」をテーマに、学校運営協議会で熟議を!

R4
年度

令和4年度のテーマは「地域防災」



学校運営協議会で熟議

地域の防災意識を高めることや津波が起きた際の安全な場所への避難誘導が課題であることを確認。

寄島っ子の未来を考えるワークショップ

- ・教職員、PTA役員、地域住民、中学生、大学生による**拡大熟議**
- ・災害から子どもや地域住民を守る「地域防災」への意識を高めるために



◆ 参加者の声

- ①寄島が、津波による被害を受ける可能性が大きい危険な場所であることを、子ども・地域に知らせることが必要。
- ②**地域・学校園合同避難訓練が必要**
- ③ふだんから地域の人とのつながりが必要、話し合う機会を設ける。
- ④**学校園の子どもがどこに避難するか、地区の人に伝える必要**がある。
- ⑤子どもたちに防災マップを作らせ、避難方法を考えさせることが大切。
- ⑥**実際に避難経路を歩き、多様な避難方法を準備**する。
- ⑦保護者に避難場所を伝え、第1・第2避難場所をしっかりと覚えることが必要。
- ⑧避難グッズ・水・食料品等準備しておき、教職員が把握する必要がある。

参加者の
声をできる
ところから
実施

発展

③④⑥

避難先地区の方々と防災街歩き



園小中学校職員は、浅口市防災担当、片本地区の方々とともに街歩きをし、避難経路の危険個所の確認や、津波が起きた際の状況などを考えた。

→ 園児、小学生、中学生が安全に避難するための場所を確保するためには、**畑や駐車場、空き地等をお借りする必要がある**こともわかった。

発展

①⑤

4年生社会科 防災フィールドワーク



浅口市防災担当の方を講師に、学校周辺地区の自主防災組織や避難場所等自然災害から人々を守る活動の現状や課題について学習した。



← さらに、その学習をもとに、地域の方々とともに、通学路の危険を学ぶ防災フィールドワークを実施。

発展

①⑤

4年生社会科 防災マップづくり



学校支援ボランティアとともに、防災フィールドワークから、防災マップづくり。

マップはコミュニティルームへ掲示。

学期に一度、長期休業日前の地区児童会で、全校児童が危険箇所を確認。

R5
年度



発展

令和5年8月には、こども園、小中学校の教職員で避難場所と避難経路を決定し、地域の方々をお願いして避難場所を確保した。

R5
年度

寄島学園 合同避難訓練



南海トラフ地震から
子どもたちを守る

10月31日(火) 9:30～

※雨天時は、11月20日(月)に延期

高台に避難
してください

こども園、小・中学校合同で片本地区への
避難訓練を実施

南海トラフによる津波から命を守るため
に、私たちはどのように行動すればよいので
しょうか

※地域民の皆さんにも訓練の様子を見ていただく。指導にしていたらよいと思います。
主催：浜口市、浜口市教育委員会、よりしんきょく化推進協議会

発展
②④



↑
片本地区や学運協委員の方々とともに、園小中合同避難訓練を実施。事前に寄島地区全戸にチラシを配布し、学校の取組を地域に知っていただくことで、地域の防災意識を高めていただく。

仕掛け！

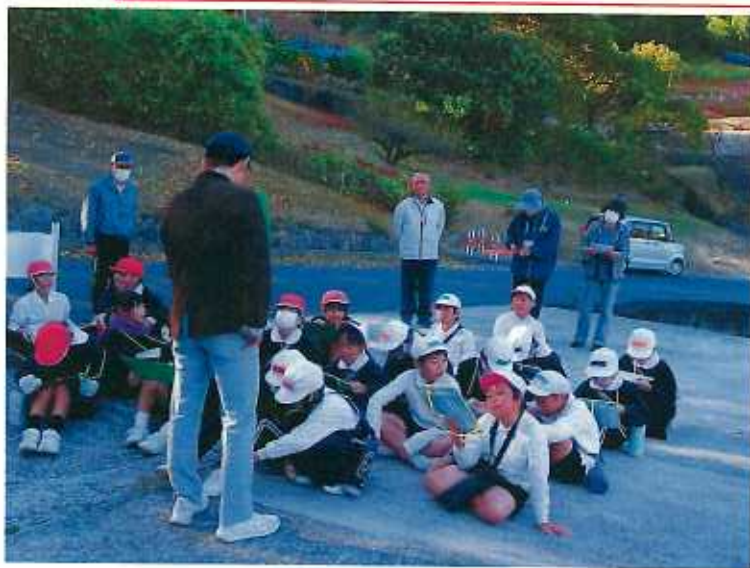
← 実施後、関係者で課題や今後の方向性を協議。住民がどういった動きになるのか、全体のイメージを把握。その後、別の地区長から「**来年度の避難訓練に参加したい**」、「**児童クラブでも実施したい**」等、**防災意識向上の広がり**がでてきた。当事者意識も高まっている。

発展

③⑤

4年生社会科 避難経路マップづくり

「子どもだけでも避難できるよう、
誰が観てもわかりやすい、避難場所へのマップを作りたい！」



片本地区や学校運営協議会委員の方々とともに、避難経路を再確認し、避難経路のマップづくりに取り組んだ。

地域の力、協働
活動の可能性

学校運営協議会での提案から、 大人や子どもの学びの深まりに！



学運協で課題提案、熟議



より多くの当事者による熟議



協働活動

参加者の声(様々な課題)を一つずつ実践

コーディネート：地域学校協働活動推進員(防災士)、浅口市防災担当

参加者の
声を協働活
動で実施

合同避難訓練へ向けた
防災街歩き



4年生防災マップづくり



学校園・地域住民
合同避難訓練

寄島学園
合同避難訓練



10月31日(火) 9:30~
※雨天時は、11月20日(月)に延期

高台に避難
してください
こども園、小・中学校合同で片本地区への
避難訓練を実施
南海トラフによる津波から命を守るため
に、私たちはどのように行動すればよいので
しょうか

浅口市立寄島小学校 浅口市立寄島中学校 浅口市立寄島小学校 浅口市立寄島中学校

教育の質
の向上

さらに、4年生「よりしま学」へ発展

学校の課
題解決

発展

③④⑤

⑥⑦

4年生 地域に開かれた教育課程「よりしま学」 自宅付近避難場所調査「防災フィールドワーク」

参観日の様子



さらに「どんな場所が避難場所に適しているのか？」という疑問から、**自宅付近の避難場所・経路**について調べ、参観日に、**保護者や地域の方**に発表し、各地区での避難場所や経路について確認した。

← そして、各地区の避難場所、避難経路での危険箇所について、**地域の方**と**保護者とともに調査**を行った。



自宅付近避難場所の危険を学ぶ
防災フィールドワーク



CSと地域学校協働活動の一体的推進による防災教育の成果

<子ども・教職員>

■防災意識の高揚

- ・ 防災担当者による具体的な話や、**拡大熟議**において、様々な立場の方で、これまでの高潮被害や避難状況等考えることで、**防災教育や避難訓練の重要性**の意識が高まった。
- ・ 地域の方や学運協委員とともに「防災街歩き」「防災学習」を行い、**会議の中では気づかない重要なことについて学び、危機意識の高まった。**

■教育の質の向上（教員の働き方改革への一助）

- ・ 地域の方が安全係として訓練に関わり、安心安全に避難訓練を実施できた。
- ・ **避難場所として民地を借りるしかない状況で、地域ぐるみで避難計画を進めることで、地域の方の理解をいただき、避難場所を確保することができた。**
- ・ 4年生は、合同避難訓練から、自宅付近の避難場所も考えるよう学びがつながり、「よりしま学」と「防災」の単元との関連を見直すことになった。

<地域>

■防災活動の重要性（学校園から地域へ発信）

- ・ **訓練の様子を見学した地域の方は、津波が押し寄せた際の動きや、子どもと大人が真剣に取り組んでいる様子を見て、防災活動の重要性を感じていた。**
- ・ 今回参加の地区以外から、来年度は参加したいという声や、児童クラブの訓練など**防災意識や活動が広がっている。**
- ・ 市や市教委との協働により、寄島が孤立する可能性があることを実感いただき、対策の重要性を伝えることができた。

今後へ向けて

地域の方々の協力をいただきながら、問題解決！

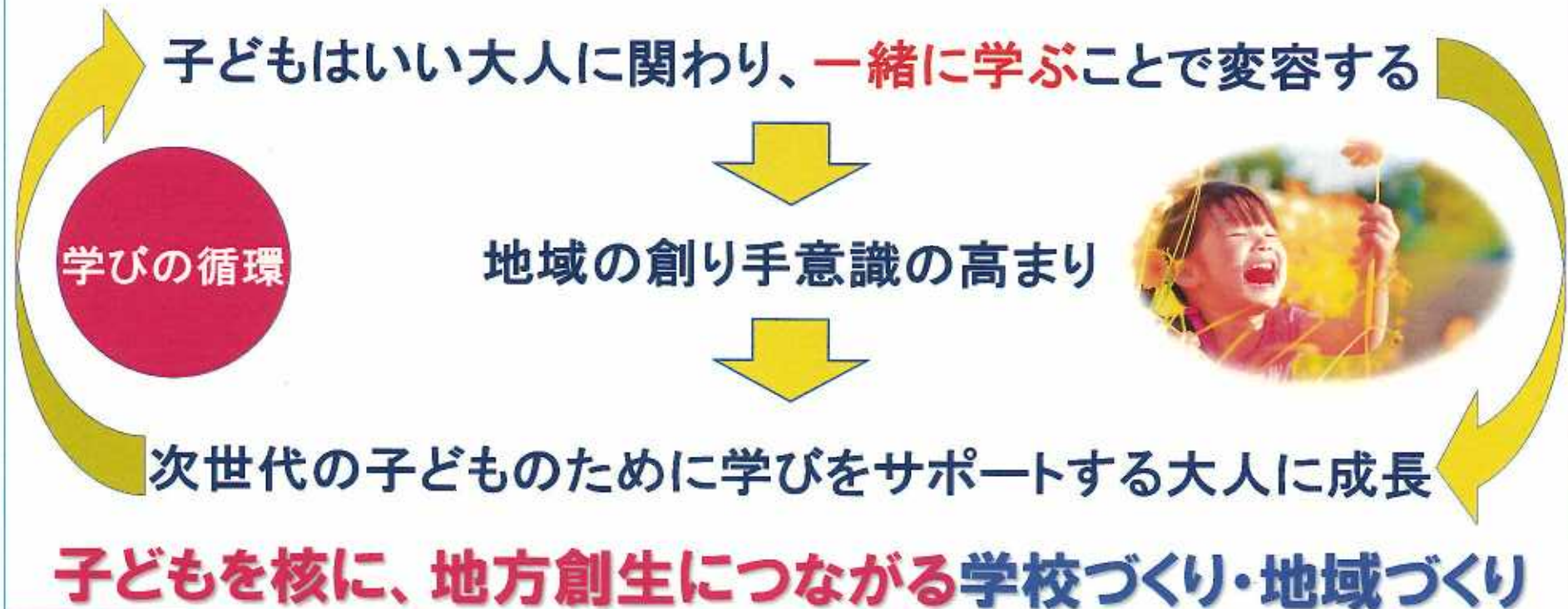
- ・地域の消防団との連携
- ・避難場所での、こども園、小中学校合同引き渡し訓練
- ・寄島地区が孤立した際の浅口市への対応要望
- ・中学生の高齢者避難の支援 等



地域と学校の連携・協働の可能性

元宇都宮大学 教授 廣瀬隆人先生の言葉

- ・いい学校は、いい地域にしか存在しません
- ・いい子どもたちは、いい保護者と、いい地域にしか存在しません
- ・子どもたちをいい大人に出会わせないと、いい大人になれません



地域における子どもの自治的な活動

地域貢献グループ「よりしま！みつけ隊」

寄島町のために、自分たちがやりたいことを話し合い、自分たちの力で実現する



ふるさと
への誇り



寄島を
楽しむ



魅力を
伝える

よりしまカレンダー



地域の
絆



トレッキングコース案内板

CSと地域学校協働活動の一体的推進

6年生 家庭科「自分の成長と家族・家庭生活

小学校へ赤ちゃんがやってきた！

6年生児童が、
家庭科の学習の
中で、0歳児とそ
の保護者との交流
を実施



赤ちゃん登校日

◆ 児童のアンケートから

- 赤ちゃんに優しくしたように、身近な人たちにも優しく接したい。
- 命の重みを感じた。**お母さんがどれほど大切に、どんな思いで育てているかが聞かなくても分かった。
- 私がここまで育ったのも親のおかげだ。**自分ができる手伝いをしたい。
- 赤ちゃんを見ていると、心が穏やかになった。
- 赤ちゃんに笑顔で接すると、すごく笑顔になってくれたから、**身近な人にも笑顔で話すことが大切だと思った。**

CSと地域学校協働活動の一体的推進

通学合宿とは

宿泊可能な施設(公民館等)で、異年齢の子どもたちが、一定の期間、家族の元から離れ、炊事や掃除、学習等を子どもたち自身で行いながら学校へ通う取組。

まるごと生活体験学校

鴨東セカンドスクール

<3泊4日の通学合宿 年2回>

- 対象 4～6年生の希望者
- 宿泊 県立鴨方高等学校セミナーハウス
- 協力者 子ども会指導者、自治会、老人会、民生委員、社会福祉協議会、元PTA役員、県立鴨方高等学校

<期待される効果>

◆子どもにとって

規範意識、礼儀、生活習慣、学習習慣、感謝、働くことの意義、協調性、自尊感情、忍耐力 等

◆保護者にとって

我が家の家庭教育を見直す機会

みんなで宿題を...

◆地域住民にとって → 地域コミュニティの構築

大人同士、子どもとのふれあいの場「顔の見える関係」

◆保護者アンケートから → 保護者や子どもの変容

- 何泊も自宅以外で泊まることがないので自信がついたように思います。
...<中略>...私自身も料理の手伝いなど、自分でやれば早く済むし、と思わずにどんどん手伝ってもらおうと思っています。娘も私も貴重な体験でした。
- 合宿から帰った翌日の朝食を作ってくれた。
- 炊事をしていると興味をもって近寄ってくるようになり、「手伝うことない？」と言ってきたり、何かお願いしても嫌がらずにしてくれたりするようになった。

地域の方が、音読を...



CSと地域学校協働活動の一体的推進によるメリット

<子ども>

- リアル体験等教育活動の充実、多様な方との学びによる**非認知能力の育成**
- よき大人を見て育ち、ボランティア活動に関心をもつ等**学びの循環**
 - 地域への愛着・貢献意識の向上**(地域の創り手意識の向上)**

<学校・教職員>

- 教職員以外の人脈が増し、**学校外への視野の広がり**
- 生徒指導上の問題等、学校の課題解決
 - 業務の負担や負担感の減少等**働き方改革への一助**
- 問題が起こったとき、タイムリーに対処できる
- 難しい判断のとき、お墨付きをいただいたという後押しに！



居場所と出番づくり

<地域>

- 学校が身近な存在に
- 生きがいの実感、自己有用感の向上
 - 協力意識の高まり**(学校支援活動の活性化)**
- 人が人を呼び、**子どもをサポートする体制の構築**
(地域の子どもは、地域で育てるという意識の向上)
- 子どもと大人、大人同士の人間関係の構築 → **防犯性が高いまちに！**

教職員の異動があっても、**継続的な学校運営**がなされる

コミュニティ・スクールの成果

◆学校と地域が**目標を共有**し、対話を通じて、課題を解決



◆**子供が変わり、学校が変わり、まちも変わる**

学校経営方針の実現